

学校探訪レポート

～先生は、みんなのパーソナルトレーナー！寄り添う授業の工夫を見つけました～

校長 古閑 龍太郎

子どもたち一人一人の学びに伴走する「パーソナルトレーナー」、好奇心を刺激する「仕掛け人」など、先生方には様々なプロの顔があります。今回、参観したのは、3年3・4組の男子保健体育（中西圭先生）のバスケットボールの授業です。そこにあったのは、緻密に計算された無駄のない流れと、心地よい規律、豊富な運動量、そして何より子どもたちの弾けるような笑顔。体育館全体を最高のエネルギーで満たす「名ディレクター」としての素晴らしい授業の様子をレポートします！

◆ 明確な「めあて」と音楽ドリル！無駄のないスムーズな授業展開



授業が始まると同時に驚かされたのは、その圧倒的なテンポの良さです。体育委員のリーダーシップによる小気味よい準備運動から、流れるようにドリル練習へと移行します。ハンドリング、ドリブル、パス、そしてシュート練習が、なんと軽快な「音楽」に合わせてリズムよく展開されていきました。中西先生が示す「本時のめあて」は非常に明確で、子どもたち自身が「今、何のためにこの練習をしているのか」を完全に理解しています。音楽に合わせて体を動かすことで、自然とモチベーションが上がり、活動と活動の間の「隙間時間（移動や準備の無駄）」が一切ありません。楽しさ（エンターテインメント性）と規律（マネジメント）のバランスが極めて優秀だからこそ生まれる、この洗練されたスムーズな流れに、思わず見惚れてしまいました

り、活動と活動の間の「隙間時間（移動や準備の無駄）」が一切ありません。楽しさ（エンターテインメント性）と規律（マネジメント）のバランスが極めて優秀だからこそ生まれる、この洗練されたスムーズな流れに、思わず見惚れてしまいました

◆ 豊富な運動量と自主的な運営！全員が主役になる白熱のゲーム

メインの展開では、体育館を贅沢に使い「白熱のゲーム」と、自己記録に挑む「30秒間のシュートテスト」の2つのエリアに分かれてローテーションが行われました。待っている生徒は一人もおらず、全員が常に動き回っているため、運動量はとにかく豊富です。さらに素晴らしかったのは、ゲーム運営が完全に子どもたちの主導で行われていた点です。審判、得点、ボール係など、それぞれの役割を自分たちで責任を持って分担し、チームメイト同士で声を掛け合いながら相互理解を深めていました。ただ「楽しかった」で終わらせず、精一杯頑張る中でチームプレイの美德を学ばせる指導観が、授業の細部にまで息づいています。メリハリがあるからこそ、子どもたちはルールをリスペクトし、その中で心から楽しむことができるのだと、改めて体育の授業の持つ教育的な価値を実感させられました。

◆ おわりに

子どもたちの溢れるエネルギーを上手に引き出し、規律あるなかで最高の「楽しさ」へと昇華させてくださっている中西先生。こうした洗練された授業マネジメントがあるからこそ、子どもたちは体だけでなく、協調性や責任感といった心も健やかに成長できます。日々の熱意あるご指導に、心から感謝いたします。いつも本当にありがとうございます！